

# 九州教員(株) 社会貢献チーム

## Press Vol.3

# Q-Press



2006年みんな怪我もなく無事に清掃活動ができました！今年も頑張るぞ！

ゴミ減少の傾向...

### 新年のご挨拶

皆様、新年あけましておめでとございます！今年も九州教員(株)社会貢献チームを、どうぞよろしくお願ひします

2007年第一回目は12月と1月に行われた里親清掃活動のレポートを中心に送ります。

### 十二月、凍える両手...

今回は社員が少しでも参加しやすいように、清掃の開始時間(通常午前7時30分)を7時45分にしてスタートしました。寒い中、総勢56名の参加があり、効率的に清掃が出来ました。結果としてゴミ自体は比較的減少していました。しかし毎回のごとくタバコの吸殻は悲しくも一向に減ることなく、捨ててある場所も公園という人が集まる場所に一番多く捨ててありました。間違つて火事でも起きてしまった場合いつた



中には大きなクモ...のおもちゃも。

誰が責任を取るのでしょうか。日本もこういった環境問題について法律の改定を行うべきだと思います。  
**忘れ物に注意しましょう！**  
そのタバコの吸殻が大量に捨ててあった公園に比較的綺麗なシャツが落ちていました。誰のものはわかりませんが、もしかするとその「誰か」は困っているかもしれない。「見つけやすいように、見つけたときに気持ちよく持ち帰れるように。」社員の中村さんはそれを考慮しシャツを丁寧にたたんでくれました。きつと今ごろ持ち主は喜んでいてくれると思います。  
**故意に隠すかのように**  
全体的にゴミの多かつた場所が運転免許試験所脇の溝で、ペットボトルや空き缶等が多く見られました。



誰かの忘れ物かもしれない...



運転免許試験所の溝。隠すように捨てられたゴミが見受けられた。

そして今回はホウキを使って清掃を行ったのですが、非常に効率的で溝にたまつた落ち葉などがダンボールいっぱいになりました。ホウキは2本しか持つていってなかつたので次回の清掃より、従来の清掃道具にホウキを増やそうと思います。  
一番ゴミの量が多い試験場周辺は歩道が狭くそこに集団で清掃をした為、通学中の生徒さんや道路を通る車の通行を妨げてしまいました。せつかくの清掃活動も交通事故などを巻き起こしてしまうといけないので、道路や歩道の状況を常に確認して、活動したいと思ひます。

# 大村市の朝日を見上げて

今年最初の社会貢献活動が1月20日に行われました。当日は朝日が綺麗に輝いていて非常に清々しい気分の中、清掃をはじめることが出来ました。

前日に引き続き、ゴミは減少の傾向にあります。これは大変喜ばしいことです。が、運転免許試験場付近やその前にあるバス停のゴミ(主に吸殻)は一向に減る気配がありません。まだまだマナーが守られていないことを痛感します。市外や他県から受験に来られる方もいると思いますので、常に綺麗にしておきたいものです。



今回も皆で頑張りました!冷えた体も温かくなります。

## 応援の声を頂きました。

毎月行っている社会貢献活動ですが、少しずつでも皆さんにこの活動を知っていただけたらと、日々頑張っています。今朝は清掃中に会社近辺にお住まいの奥様が『ご苦勞様です』と声をかけてくれました。私たちにどうしてこのお声は何よりの力になります。これからも期待に応えるような活動に精一杯努めます。

## 携帯灰皿は喫煙者のマナー

今回は何とにんじん畑にゴミが投げ入れられていました。非常に遺憾なことです。誰も人の敷地にゴミを捨てる行為を快く思わないはず。ポイ捨てをなんとも思わない方には是非考え直していただきたいものです。

そして清掃を重ねることに毎回気付かされることは、人が見えないような場所にゴミを捨てていることです。具体例は草むら、溝、田畑、など。酷いときは民家の庭先にもペットボトルなどが捨てられています。全体的に一番多いのはやはりタバコの吸殻です。



処理も大変でございます!



ほら!こんなところにポイ捨てして!!

捨てる場所が無く、仕方なくポイ捨てをするのであれば、百元ショップにも販売してある携帯灰皿を購入して欲しいものです。地球のために、そして子ども達や生まれてくる新しい命のために、私たちはどんな大人であるべきなのでしょう。今現在、本来あるべき大人の姿を子供たちに見せることが出来るのでしょうか?このままではいけません。どうか皆様方一人お一人のご協力を、これからもよろしく願います。

# アンパンマンのエキス

2月になると献血のシーズンが到来しますが、献血活動が具体的にどのような役割に立っているかご存知でしょうか?今回はテレビやインターネットで話題を呼んでいる、主婦きよみさんのお話を本人に直接許可を頂き、プレスに掲載することができました。この記事を見て少しでも献血者数が増えることを期待しています。

九州教員では2月2日、会社に献血車がかかります。会社全体の参加が出来ればと思っております。

## ありがとうといっぱい言わせて

「私の4歳の長男は小児ガンです。10ヶ月の闘病生活の末、亡くなってしまいました。その間、皆様の献血のおかげで安心して治療を受ける事ができました。本当にありがとうとございませう。」

あの子は輸血されると元気になる事を知っていて『アンパンマンのエキスだ』と言っていました。一時は毎日のように輸血させて頂きました。輸血が必要な時『今足りないの待っていてください』と言われ

祈るような想いで待っていた事もありました。当時は一刻を争う時でした。肩で息をする程の。輸血をしなれば、即何が起こっても不思議じゃない。でも、アンパンマンのエキスは無かった。

ずっと苦しがつている長男の手を握りしめながら祈るしかできないこの歯がゆさ。そして深夜、丸一日経って届けられた命をつなぐ血!それは県外からヘリコプターで届けられたものでした。また、一回の輸血で必要とされるのは約8人分らしく(血小板)これらを含め輸血を50回以上もさせて頂いてました。本当に、本当に心から感謝いたします!届いたときは、本当に嬉しかったです。

献血して頂きました皆様



になんてお礼を言ったらいいの。ありがとう!ありがとう!医療スタッフの皆様のおかげで生きながらえる事ができてこんなに『ありがとう』と言っても足りません。

今でも病院では、多くの子供たちが輸血を待っています。これからも献血をお願いします。もちろん私も来ます。子供たちの笑顔が消えませんが祈ります。【ねえ、今なにしてる?】

今日もお空にむかって。」

この記事は、きよみさんが本人が運営しているブログより転載しています。この記事におよそ7件の書き込みがありました。皆さん、献血に対する考え方を再確認し、命の大切さを実感することができたそうです。